

6 畜産第 353 号-26
令和 6 年 7 月 30 日

広島県知事 殿

農林水産大臣 坂本 哲志

令和 6 年度定期種畜検査報告の通報について

このことについて、家畜改良増殖法（昭和 25 年法律第 209 号。以下「法」という。）第 4 条第 1 項の規定に基づく独立行政法人家畜改良センターが毎年行う検査として広島県第 1 班にかかる令和 6 年度定期種畜検査が実施され種畜証明書を交付したので、法第 8 条第 1 項の規定に基づき通報する。

別記様式第1号

- (注) 1 検査成績欄には、特級、1級、2級、級外又は不合格の別を記載すること。また、不合格の場合は、その理由を付記すること。
 2 前年供用状況欄について
 ① 前年1月1日より12月31日までの間における
 ア 種付けの実績延頭数
 イ 家畜人工授精用精液の生産本数(及び払出本数)をそれぞれ区分して記入すること。
 ② 初めて独立行政法人家畜改良センターの種畜検査を受けたものについては、「新願」と記入すること。
 ③ 前年に地方の臨時検査を受けているものについては、「新願」と記載するとともに①についても併記すること。
 3 所有者の区分欄には、独立行政法人有(貸付の場合は貸付と記載)、都道府県有、市町村有、農協(同連合会、酪協、畜協等を含む。)有、団体(一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人)有、個人有、その他の別を記載すること。
 4 飼養者の住所は、郡市区町村名を記載すること。

種 畜 検 査 名 簿

種 畜 証 明 書 番 号	検 査 月 日	名 前 (登録・登記番号)	品 種	生年月日 体 高	毛 色	産 地	血 統	検 査 成 績	前 供 状 年 用 況	所 有 者 の 区 分	飼 養 者 の 住 所 氏 名
					特 徴		父 母				
11343085808	6月21日	花勝百合 (全和黑 15316)	黒毛和種	H27.11.17	黒	広島県 庄原市	美津百合	特級	イ2,067 (1,803)	県有	庄原市七塚町5584 広島県立総合技術研究所畜産 技術センター
				156.0 cm	1343085808		はなひら				
11343085853	6月21日	福梶大柴 (全和黑原 6160)	黒毛和種	H28.1.6	黒	広島県 庄原市	3柴沖茂	1級	イ704 (179)	県有	庄原市七塚町5584 広島県立総合技術研究所畜産 技術センター
				155.0 cm	1343085853		ふくかじかわ7				
11527486025	6月21日	紅神照 (全和黑原 6238)	黒毛和種	H28.10.1	黒	広島県 庄原市	田安照	1級	イ0 (102)	県有	庄原市七塚町5584 広島県立総合技術研究所畜産 技術センター
				158.0 cm	1527486025		ゆりさわ				
11386944698	6月21日	野村立 (全和黑原 6316)	黒毛和種	H29.9.16	黒	広島県 庄原市	田安照	1級	イ969 (20)	県有	庄原市七塚町5584 広島県立総合技術研究所畜産 技術センター
				148.0 cm	1386944698		のむら77				
11404742220	6月21日	立橋58 (全和黑原 6402)	黒毛和種	R1.5.8	黒	広島県 庄原市	勝白福	1級	イ0 (2)	県有	庄原市七塚町5584 広島県立総合技術研究所畜産 技術センター
				162.0 cm	1404742220		たつはし55				

別記様式第1号

- (注) 1 検査成績欄には、特級、1級、2級、級外又は不合格の別を記載すること。また、不合格の場合は、その理由を付記すること。
 2 前年供用状況欄について
 ① 前年1月1日より12月31日までの間における
 ア 種付けの実績延頭数
 イ 家畜人工授精用精液の生産本数(及び払出本数)をそれぞれ区分して記入すること。
 ② 初めて独立行政法人家畜改良センターの種畜検査を受けたものについては、「新願」と記入すること。
 ③ 前年に地方の臨時検査を受けているものについては、「新願」と記載するとともに①についても併記すること。
 3 所有者の区分欄には、独立行政法人有(貸付の場合は貸付と記載)、都道府県有、市町村有、農協(同連合会、酪協、畜協等を含む。)有、団体(一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人)有、個人有、その他の別を記載すること。
 4 飼養者の住所は、郡市区町村名を記載すること。

種 畜 検 査 名 簿

種 畜 証明書 番号	検 査 月 日	名 前 (登録・登記番号)	品 種	生年月日 体 高	毛 色	産 地	血 統	検 査 成 績	前 供 状 年 用 況	所 有 者 の 区 分	飼 養 者 の 住 所 氏 名
					特 徴		父 母				
11600886810	6月21日	勝山桜 (全和黑原 6403)	黒毛和種	R1.8.6	黒	広島県 庄原市	勝白福	1級	イ0 (2)	県有	庄原市七塚町5584 広島県立総合技術研究所畜産 技術センター
				163.0 cm	1600886810		のやま8046				
11404739800	6月21日	波平桜 (全和黑 15793)	黒毛和種	R2.4.13	黒	広島県 東広島市	沖茂神竜	1級	イ137 (2)	県有	庄原市七塚町5584 広島県立総合技術研究所畜産 技術センター
				154.0 cm	1404739800		ひらさくら				
10870954243	6月21日	仁義烏 (全和黑原 6527)	黒毛和種	R3.4.6	黒	広島県 世羅郡 世羅町	立烏帽子	1級	イ263 (120)	県有	庄原市七塚町5584 広島県立総合技術研究所畜産 技術センター
				148.0 cm	0870954243		じんよし303				
11467457260	6月21日	芳福照 (全和黑原 6559)	黒毛和種	R3.7.19	黒	広島県 神石郡 神石高原 町	芳乃照	1級	イ519 (125)	県有	庄原市七塚町5584 広島県立総合技術研究所畜産 技術センター
				141.0 cm	1467457260		きよみ				
11655714274	6月21日	花金百合 (全和黑原 6628)	黒毛和種	R4.8.2	黒	広島県 広島市	花勝百合	1級	新願	県有	庄原市七塚町5584 広島県立総合技術研究所畜産 技術センター
				142.0 cm	1655714274		かねすず5				

別記様式第1号

- (注) 1 検査成績欄には、特級、1級、2級、級外又は不合格の別を記載すること。また、不合格の場合は、その理由を付記すること。
 2 前年供用状況欄について
 ① 前年1月1日より12月31日までの間における
 ア 種付けの実績延頭数
 イ 家畜人工授精用精液の生産本数(及び払出本数)をそれぞれ区分して記入すること。
 ② 初めて独立行政法人家畜改良センターの種畜検査を受けたものについては、「新願」と記入すること。
 ③ 前年に地方の臨時検査を受けているものについては、「新願」と記載するとともに①についても併記すること。
 3 所有者の区分欄には、独立行政法人有(貸付の場合は貸付と記載)、都道府県有、市町村有、農協(同連合会、酪協、畜協等を含む。)有、団体(一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人)有、個人有、その他の別を記載すること。
 4 飼養者の住所は、郡市区町村名を記載すること。

種 畜 検 査 名 簿

種 畜 証明書 番 号	検 査 月 日	名 前 (登録・登記番号)	品 種	生年月日 体 高	毛 色	産 地	血 統	検 査 成 績	前 供 状 年 用 況	所 有 者 の 区 分	飼 養 者 の 住 所 氏 名
					特 徴		父 母				
11659087374	6月21日	花峰勝 (全和黑原 6627)	黒毛和種	R4.8.22	黒 1659087374	広島県 庄原市	花勝百合	1級	新願	県有	庄原市七塚町5584 広島県立総合技術研究所畜産 技術センター
				137.0 cm			みねかつ02				

別記様式第2号

- (注) 1 一般検査は、飼養者からの聞き取り及び外貌観察等により、体温、被毛、栄養、結膜、呼吸、脈はく、心音その他につき検査し異常のないものは「異常なし」と記載し、臨床症状が顕著なものは、合格したものについてもその状況を詳細に記載すること。
- 2 伝染性疾患の検査結果を、+、-に区分して記載すること。
- 3 精液の良否は、精液及び精子検査の総合判定により記載すること。
- 4 判定は、衛生検査の総合判定により合、保留又は否のいずれかを記載すること。
- 5 備考欄には、再検査の有無その他参考事項を記載すること。
- 6 家畜伝染病予防法(昭和26年法律第166号)第5条又は第31条の規定により行う牛カンピロバクター症、トリコモナス症、馬パラチフス、オーエスキー病又はブルセラ症の検査を受け、第8条の証明書(検査当日において発後6ヶ月を経過していないもの)を有するものにつき、その証明書を利用した場合は、診断結果の文字(+、-)を○で囲むこと。
- 7 活力及び生存率は活力のパーセンテージを記載すること。ただし、+++が50%以下の場合++以上のパーセンテージを併記すること。

衛生検査成績表

検査日	名前	品種	一般検査	細密検査							判定	備考		
				伝染性疾患					繁殖機能の障害					
									精子検査				精液の良否	
				牛カンピロバクター症	トリコモナス症	馬パラチフス	オーエスキー病	ブルセラ症	活力及生存率	奇形率				
6月21日	花勝百合	黒毛和種	異常なし	-	-					+++90%, ++5%	3.0%	良	合	
6月21日	福梶大柴	黒毛和種	異常なし	-	-					+++85%, ++5%	3.0%	良	合	
6月21日	紅神照	黒毛和種	異常なし	-	-					+++80%, ++5%	4.0%	良	合	
6月21日	野村立	黒毛和種	異常なし	-	-					+++90%, ++5%	4.0%	良	合	
6月21日	立橋58	黒毛和種	異常なし	-	-					+++90%, ++5%	3.0%	良	合	

別記様式第2号

- (注)
- 1 一般検査は、飼養者からの聞き取り及び外貌観察等により、体温、被毛、栄養、結膜、呼吸、脈はく、心音その他につき検査し異常のないものは「異常なし」と記載し、臨床症状が顕著なものは、合格したものについてもその状況を詳細に記載すること。
 - 2 伝染性疾患の検査結果を、+、-に区分して記載すること。
 - 3 精液の良否は、精液及び精子検査の総合判定により記載すること。
 - 4 判定は、衛生検査の総合判定により合、保留又は否のいずれかを記載すること。
 - 5 備考欄には、再検査の有無その他参考事項を記載すること。
 - 6 家畜伝染病予防法(昭和26年法律第166号)第5条又は第31条の規定により行う牛カンピロバクター症、トリコモナス症、馬パラチフス、オーエスキー病又はブルセラ症の検査を受け、第8条の証明書(検査当日において発後6ヶ月を経過していないもの)を有するものにつき、その証明書を利用した場合は、診断結果の文字(+、-)を○で囲むこと。
 - 7 活力及び生存率は活力のパーセンテージを記載すること。ただし、+++が50%以下の場合++以上のパーセンテージを併記すること。

衛生検査成績表

検査日	名前	品種	一般検査	細密検査							判定	備考		
				伝染性疾患					繁殖機能の障害					
				牛カンピロバクター症	トリコモナス症	馬パラチフス	オーエスキー病	ブルセラ症	精子検査	精液の良否				
6月21日	勝山桜	黒毛和種	異常なし	-	-					+++80%, ++5%	3.0%	良	合	
6月21日	波平桜	黒毛和種	異常なし	-	-					+++85%, ++5%	4.0%	良	合	
6月21日	仁義烏	黒毛和種	異常なし	-	-					+++85%, ++5%	5.0%	良	合	
6月21日	芳福照	黒毛和種	異常なし	-	-					+++85%, ++5%	4.0%	良	合	
6月21日	花金百合	黒毛和種	異常なし	-	-					+++80%, ++5%	3.0%	良	合	

別記様式第2号

- (注)
- 1 一般検査は、飼養者からの聞き取り及び外貌観察等により、体温、被毛、栄養、結膜、呼吸、脈はく、心音その他につき検査し異常のないものは「異常なし」と記載し、臨床症状が顕著なものは、合格したものについてもその状況を詳細に記載すること。
 - 2 伝染性疾患の検査結果を、+、-に区分して記載すること。
 - 3 精液の良否は、精液及び精子検査の総合判定により記載すること。
 - 4 判定は、衛生検査の総合判定により合、保留又は否のいずれかを記載すること。
 - 5 備考欄には、再検査の有無その他参考事項を記載すること。
 - 6 家畜伝染病予防法(昭和26年法律第166号)第5条又は第31条の規定により行う牛カンピロバクター症、トリコモナス症、馬パラチフス、オーエスキー病又はブルセラ症の検査を受け、第8条の証明書(検査当日において発行後6ヶ月を経過していないもの)を有するものにつき、その証明書を利用した場合は、診断結果の文字(+、-)を○で囲むこと。
 - 7 活力及び生存率は活力のパーセンテージを記載すること。ただし、+++が50%以下の場合++以上のパーセンテージを併記すること。

衛生検査成績表

検査日	名前	品種	一般検査	細密検査								判定	備考	
				伝染性疾患					繁殖機能の障害					
									精子検査		精液の良否			
				牛カンピロバクター症	トリコモナス症	馬パラチフス	オーエスキー病	ブルセラ症	活力及生存率	奇形率				
6月21日	花峰勝	黒毛和種	異常なし	-	-					+++85%, ++5%	3.0%	良	合	

別記様式第3号

- (注) 1 遺伝性疾患は、家畜改良増殖法施行規則第6条第1項第2号に定める遺伝性疾患について記載すること。有する場合は「あり」、有しない場合は「なし」とすること。
 2 保因状況は、疾患ごとに遺伝子型検査結果を次の例により記載すること。
 例) 正常:F、保因:C、検査未実施:未、不明等(不明、記載不可等):※
 3 保因状況は、これを種畜証明書へ記載することに対する飼養者の意向の確認を行った上で、遺伝子型検査結果の開示があった遺伝性疾患について記載すること。
 4 飼養者が遺伝子型検査結果の種畜証明書への記載に同意しなかった場合及び全ての遺伝性疾患について遺伝子型検査結果が不明である場合には、備考欄に「不明等」と記載すること。

遺 伝 性 疾 患

検査日	名前	品種	遺伝性疾患	保因状況								備考
				クローディン16欠損症	第13因子欠損症	バンド3欠損症	IARS異常症	モリブデン補酵素欠損症	牛白血球粘着性欠如症	牛複合脊椎形成不全症	牛短脊椎症	
6月21日	花勝百合	黒毛和種	なし	F	F	F	F	F				
6月21日	福梶大柴	黒毛和種	なし	F	F	F	F	F				
6月21日	紅神照	黒毛和種	なし	F	F	F	F	F				
6月21日	野村立	黒毛和種	なし	F	F	F	F	F				
6月21日	立橋58	黒毛和種	なし	F	F	F	F	F				

別記様式第3号

- (注) 1 遺伝性疾患は、家畜改良増殖法施行規則第6条第1項第2号に定める遺伝性疾患について記載すること。有する場合は「あり」、有しない場合は「なし」とすること。
 2 保因状況は、疾患ごとに遺伝子型検査結果を次の例により記載すること。
 例) 正常:F、保因:C、検査未実施:未、不明等(不明、記載不可等):※
 3 保因状況は、これを種畜証明書へ記載することに対する飼養者の意向の確認を行った上で、遺伝子型検査結果の開示があった遺伝性疾患について記載すること。
 4 飼養者が遺伝子型検査結果の種畜証明書への記載に同意しなかった場合及び全ての遺伝性疾患について遺伝子型検査結果が不明である場合には、備考欄に「不明等」と記載すること。

遺 伝 性 疾 患

検査日	名前	品種	遺伝性疾患	保因状況								備考
				クローディン16欠損症	第13因子欠損症	バンド3欠損症	IARS異常症	モリブデン補酵素欠損症	牛白血球粘着性欠如症	牛複合脊椎形成不全症	牛短脊椎症	
6月21日	勝山桜	黒毛和種	なし	F	F	F	F	F				
6月21日	波平桜	黒毛和種	なし	F	F	F	F	F				
6月21日	仁義烏	黒毛和種	なし	F	F	F	F	F				
6月21日	芳福照	黒毛和種	なし	F	F	F	F	F				
6月21日	花金百合	黒毛和種	なし	F	F	F	F	F				

別記様式第3号

- (注) 1 遺伝性疾患は、家畜改良増殖法施行規則第6条第1項第2号に定める遺伝性疾患について記載すること。有する場合は「あり」、有しない場合は「なし」とすること。
 2 保因状況は、疾患ごとに遺伝子型検査結果を次の例により記載すること。
 例) 正常:F、保因:C、検査未実施:未、不明等(不明、記載不可等):※
 3 保因状況は、これを種畜証明書へ記載することに対する飼養者の意向の確認を行った上で、遺伝子型検査結果の開示があった遺伝性疾患について記載すること。
 4 飼養者が遺伝子型検査結果の種畜証明書への記載に同意しなかった場合及び全ての遺伝性疾患について遺伝子型検査結果が不明である場合には、備考欄に「不明等」と記載すること。

遺 伝 性 疾 患

検査月日	名前	品 種	遺伝性疾患	保因状況								備考
				クローディン16欠損症	第13因子欠損症	バンド3欠損症	IARS異常症	モリブデン補酵素欠損症	牛白血球粘着性欠如症	牛複合脊椎形成不全症	牛短脊椎症	
6月21日	花峰勝	黒毛和種	なし	F	F	F	F	F				